【ATLANTIS *English Conversation* One-year Syllabus 】

１．本書の特色

**特色１・繰り返しによる学習**

　身近な話題について英語で会話する能力を養うため、よく使われる表現を選出しました。基礎的・基本的な知識・技能をしっかりと身に付けさせるため、導入から展開へ、少しずつつながりや広がりが持てるよう工夫しました。例えば、はじめは基本文型を用いてごく簡単な表現を使って自分自身のことについて述べたり、その後は、友人や先生に質問したり、さらにまとめには、実際に起こりうる場面を想定し、登場人物になりきって演じたりできるよう練り上げました。重要表現がレッスンに１度だけではなく、何度も出てくるようにし、かつその表現が英語を日常使用する人々にとって自然な表現であることに重きを置いて構成しました。

**特色２・段階を追った発展的な問題**

　学んだ内容を、個人からペアワーク、３～４人のグループワーク、そしてクラス全体で意見交換できるよう構成しました。少しずつ発展的な問題に取り組むことによって、自ら考え、判断し、表現する力が身に着くよう、またその過程で少しずつ外国語学習に自信が持てるよう配慮しました。

**特色３・継続的な学習意欲の育成**

　自主的に学習に取り組み、外国語に興味・関心が高まるよう、外国語を使用している人々を中心とする世界観をふんだんに味わうことができるような内容を選び、視覚に訴える写真、図、トピックに関連した問題づくりに努めました。これらの題材や写真等が効果的となり学習意欲を継続させていくことを期待します。

**特色４・会話を意識した展開**

　英語表現を覚えたり表現できるようになったとしても、相手の目を見て話せなかったり、対話の相手との距離が遠すぎたりしては真のコミュニケーション能力が身についた、とは言い切れないでしょう。全レッスンを通して、アイコンタクトを意識させ、また相手の意見を受け入れるという聞き手の態度も養うことに重きを置きました。生徒にとって身近な題材を選定したことで自他共に会話の内容に興味を持ち、会話を続けたい、さらに聞き出したい、と思えるような意欲が身についていくことを期待します。

２．編修の基本方針

教育基本法第二条の目的を達するために、以下を編修の基本方針としました。

①　言語の特性を幅広く学びながら、コミュニケーションを図ろうとする態度を育成できる内容としました。

②　多様な価値観を学んだり、その内容を他者と交換し合ったりすることで、互いの意見が尊重される経験を積み重ねられるよう留意しました。

③　英語の実用性等を学ぶ中で、自他の違いを重んじる態度を育み、主体的に社会に貢献しようとする態度を養える内容としました。

④　生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を育成するため、世界を舞台とした題材を展開することで視野を広げることができるようにしました。

⑤　進んで外国の文化を理解しようとする態度を育成するとともに、国際理解や国際感覚を養い、国際社会に関心が持てるような内容を厳選しました。

３．各レッスンの構成と学習指導要領との対照表、及び１レッスンにおける授業時数案

※以下の構成をより深く理解しご活用していただくために、教科書ⅶ～ⅷ（巻頭ページ、目次の後）を合わせてご覧ください。

※様々なコミュニケーションスタイルに対応する力を身につけるため、様々な演習を取り入れました。

※１レッスンは５時間の構成としましたが、必ずしもこの構成・内容順に載っているわけではありません。以下の１～４（ Conversation, Getting know each other, Vocabulary, Grammar ）の要素が各レッスンに順不同で取り入れてある点にご注意ください。

※どのレッスンにおいても、「アイコンタクト」を意識して取り入れました。顔を上げて、目線を合わせて話すことの重要性を学ぶとともに、習慣化していくことでさらなるコミュニケーション能力が高まることを期待します。

※巻末のAdditional Activitiesはレッスンの順番に関わらず、どのタイミングでどの部分だけ行っても他のレッスンに影響しません。ALTとの英語活動等にご活用ください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 本書の構成・内容 | 学習指導要領の内容 | 該当箇所 | 配当時数案 |
| **1. Conversation** | 内容（１）ウ聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどを場面や目的に応じて適切に答える。内容（２）アリズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。内容（２）イ繰り返しを求めたり、言い換えたりするときなどに必要となる表現を活用すること。 | 各レッスン内 | ５ |
| **2. Getting to know your teacher and classmates** | 内容（１）イ関心のあることについて相手に質問したり、相手の質問に答えたりする。 |
| **3. Vocabulary** | 内容の取扱い（３）生徒の実態に応じて、多様な場面における言語活動を経験させながら、中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し、定着を図るものとする。 |
| **4. Grammar** | 内容（１）ア相手の話を聞いて理解するとともに、場面や目的に応じて適切に応答する。内容の取扱い（２）読むこと及び、書くこととも有機的に関連づけた活動を行うことにより、聞くこと及び話すことの指導の効果を高める工夫をするものとする。内容の取扱い（３）生徒の実態に応じて、多様な場面における言語活動を経験させながら、中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し、定着を図るものとする。 |
| **5.アイコンタクト** | 内容（２）ウジェスチャーなどの非言語的なコミュニケーション手段の役割を理解し、場面や目的に応じて適切に用いること。 |
| **6.実践的な言語活動** | 内容の取扱い（１）中学校におけるコミュニケーション能力の基礎を養うための総合的な指導を踏まえ、実際の会話に即した言語活動を多く取り入れながら、聞いたり話したりする能力の向上を図るよう指導するものとする。 | 特に、１６～１７、１８～１９、３２～３３、４２、４９～５０、５６、７１～７２、８５ページ |
| **7.海外での生活に必要な基本表現** | 内容（１）エ海外での生活に必要な基本的な表現を使って会話する。内容（２）イ繰り返しを求めたり、言い換えたりするときなどに必要となる表現を活用すること。 | 特に、１８～１９ページ、８６～９５ページ |
|  |  | 計 | ５ |

３．One-year Syllabus

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **月** | **レッスンの構成・内容** | **題材内容** | **扱う文法事項等** | **授業数** |
| 4 5 67/89101112123 | **Natural English****Classroom English****Introduction Questions** | 教室でよく使う表現等についてまとめた。授業で何度も繰り返し使用することでしっかりと身に付けていく。相手の話を聞いて内容を理解するとともに、場面や目的に応じて適切に応答する基礎を養う。 | 中学校での学習内容の復習 | １ |
| **Lesson 1**  I like meeting new people  | **「自分自身について話し、相手について知る」**新学期スタートにあたって、新しい友人関係や学級づくりにふさわしい題材である。自分自身のことや身近なことを少しずつ表現できるよう段階を踏んだ演習を設定した。「自由時間に何をするのが好きか」という問いかけを中心に自他共に質問する活動を行う。 | **不定詞****動名詞** | ５ |
| **Lesson 2** I usually wake up at 7:00 in the morning. | **「日課を説明する」**　自分自身の日課について英語で表現する。自分自身のことについてより詳しく表現できることは、コミュニケーションが長く続くための自信にもつながる。まとめのグループワークでは、協調性を養いつつ全体発表に挑戦する。 | **頻度に関する副詞** | ５ |
| **Lesson 3** We’re going to take a trip.  | **「未来について話す」**　予定についてたずねあう活動をする。はじめに、自分自身のことについて表現し、次に、ペアワーク活動、実際に旅行に行っていることを仮定した問題に挑戦する。英語を実際に使うであろう使用場面とその時使われる旅先での表現を身に付ける。 | **be going toを使った未来表現** | ５ |
| Let’s sing a song.My grandfather’s clock. | 英語の歌に慣れ親しむ。 | 英語の歌 | 適宜 |
| **Lesson 4** How about going to a party?  | **「招待、承諾、拒否をする／趣味について話す」**　誘ったり誘われたりする表現を学ぶ。友人や家族との日常の中でよくあることである。ここでは、誘い方だけではなくその応答も同時に学。円滑なコミュニケーションを続けるテクニックを身に付ける。 | **提案の基本型** | ５ |
| **Lesson 5** You should take off your shoes.　 | **「アドバイスをする／文化の違いについて話し合う」**基礎的・基本的な助言の表現について学ぶ。３２ページの４では、外国人男性が日本人女性の家に訪問しその両親に会う、という場面を設定した。ぜひ生徒にはなりきって演じてもらい、疑似体験をしてほしい。アメリカと日本の習慣の違いについても学ぶ。 | **アドバイスの基本型** | ５ |
| **Lesson 6** We are not allowed to color our hair.  | **「アルバイトやスポーツのルールについて話す」**　学校生活や社会生活の中で規範を守ることは大変重要なことである。公共の精神に基づき、規範を守る意識も高められるよう配慮した。ここでは、「～してはいけない」の表現を、生徒にとって身近な題材やスポーツのルールを介して学ぶ。 | **許可の基本型** | ５ |
| Take a break and socialize | レッスン１～６までに習った表現を用いて、総合的に表現できるような活動を行う。 | Lesson 1~6の復習 | １ |
| **Lesson 7**How was your vacation?  | **「過去について話す」**　過去に起きたことについて質問し合う表現をする。導入は、よく使われる表現に絞った。子供時代を振り返る題材も取り入れた。よく使われる表現を学ぶことによって、身近な話題について英語でより表現し自信がつくことを期待する。 | **過去形　was / were/ did** | ５ |
| **Lesson 8** I used to live in America.  | **「子供時代について話す」**「過去においてよくしたこと」の表現を学ぶ。５６ページの６では、自分自身が６５歳であると仮定して息子や娘、孫に伝えたいことについて考えるグループ活動に挑戦する。 | **I used to と過去形** | ５ |
| **Lesson 9** What were you doing on Christmas Eve?  | **「何か起こった時にしていたことについて説明する」**　「地震が起きた時に何をしていたか」という日本人の生活にとってよく起こりうる表現を題材にした。生徒の住んでいる地域によっては配慮を要する題材かもしれないが、外国人からはよく聞かれる質問であることも想定し、社会生活において必要なこととして学習する。「地震」をキーワードに自然や天災、生命の尊重等の理解を深めたり他教科と関連付けて学ぶのもよい。 | **過去進行形while、 during** | ５ |
| Let’s sing a song.Jingle Bells | 英語の歌に慣れ親しむ。 | 英語の歌 | 適宜 |
| **Lesson 10** Who is the funniest person in your school?  | **「比較とベストとワーストな事柄について話す」**　「より～」「一番～」という表現について様々な場面を設定し、会話力を定着させることをねらいとする。先生や友人に質問する場面を多く持ったので、友人や学級等についてもより深く知る機会にもなる。また、相手の意見に対して同意や反対する表現も学ぶことで、社会生活で必要な会話力も身に着けてほしい。 | **比較級／最上級** | ５ |
| **Lesson 11**How long have you played the piano?  | **「経験について話す」**　「今まで～したことはありますか」という表現は、友人同士でよく使われる表現であるともに、日本を訪れた外国人にたずねられる質問であることから、２つの場面を設定した。また、「（いつから／どれくらいの間）ずっと～している」という表現も学び、コミュニケーションに幅を持たせる。 | **現在完了形** | ５ |
| **Lesson 12**I wish I were rich.  | **「願望を表現する」**　「～だったらいいのになぁ」という現在の事実と異なることを願う表現を学ぶ。様々な場面に応じた表現を学び基礎的・基本的な知識を身に付け、自分自身のことについて表現することに挑戦する。本レッスン全体の最後の課でもあるので、１年間を通し、自分の英語力がどれぐらい伸びたかなども確認する。 | **仮定法** | ５ |
| **Additional Activities** | **「道案内、レストラン、ジェスチャー、意見VS.事実、発音」**海外での会話であることを想定し、よく使われる表現を厳選してまとめた。まとめに、クロスワードの問題を２題用意した。楽みながら振り返りの学習をしてほしい。発音指導は、図、写真、簡単な説明を用いた。できるだけシンプルにした短い英文で構成したので、繰り返し練習し、英語らしい音を身に付ける。 | 既習事項の復習※復習以外のページは、どのタイミングで行ってもよい活動である。 | ８ |
| Word list  | 学習した内容への理解が深まるよう一覧化した。 | 単語、フレーズの一覧表 | 適宜 |
| Translation　  | 生徒の学習のサポートになるよう和訳を載せた。 | 各レッスンの会話文の和訳 | 適宜 |
| Natural English | より英語学習に興味関心が持てるよう、よくある間違いと正しい答えについて示した。 | 巻頭見出し表紙の和訳 | 適宜 |
| ※Workbook等を随時活用する。 | ７０ |